

おかやまりんこうつどう 岡山臨港鉄道

1 事業者の概要

名称 岡山臨港鉄道株式会社, 本社 岡山市海岸通, 資本金 7,000 万円, 事業 地方鉄道専業。従事員 44 人, 保有車両内燃機関車 2, 同客車 2, 客車 1, 貨車 2 両。

沿革 この鉄道は, 初め岡山市南部地帯にある汽車製造, 倉敷航空等の 4 社が軍需生産のため昭和 19・11 専用線として工事に着手したが, 終戦と同時に中止, 同 21・6 汽車製造株式会社が再度着工, 同 22・2 完成した。その後この地帯の産業開発に寄与する目的で一般に開放するため汽車製造, 倉敷レーヨン等の 4 会社を主体とし, 県・市も呼応して昭和 25 年地方鉄道の免許を得, 同 26・4 岡山臨港鉄道株式会社設立, 同年 8 営業開始し現在に至っている。



岡山臨港鉄道線

2 地方鉄道線

国鉄宇野線大元駅に連絡, 大元・岡山港間 8.1 km 単線, 動力蒸気・内燃, 軌間 1.067 m, 旅客・貨物運輸を目的とする。昭和 25・11・17 免許, 同 26・8・1 運輸開始。

3 運輸概況

項目	年 度		
	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	617	509	441
人 キ ロ (千)	3,516	2,675	2,316
貨物輸送トン数(千t)	56	85	92
ト ン キ ロ (千)	399	597	635
旅客収入(千円)	4,622	3,748	3,270
貨物収入(〃)	9,357	12,639	14,322
運輸雑収(〃)	1,989	3,139	2,953
収入合計(〃)	15,968	19,527	20,544
営業費(〃)	14,935	19,999	20,896
営業利益(〃)	1,032	△ 473	△ 352
営業係数(%)	94	102	102

(原 功)

おくないてんとうでんりょくせつびしせつところえ 屋内電灯電力設備施設心得 屋内電灯電力設備を安全にして経済的に設計しかつ施工を行うために電線の太さの選定および接続法, 碍(かい)子・金属管・ケーブル等の配線工事方法, また電力機器たる配電盤・開閉器・灯具等の規格, 施工法について定めた規程(大正 11 制定, 昭和 11・8 改正)。(岩沢 弘)

おくにせん 小国線 山形県西置賜郡小国町を中心として南北に伸びる国鉄自動車路線であって, 所管する自動車営業所は秋田県由利郡象潟町に, 同支所は山形県西置賜郡小国町にある。

1 区間およびキロ程

小国・五味沢	20 km
小国・泡ノ湯	30
小国・下大石沢	22

2 沿革

小国・荒沢	昭 26・4・1 開業
小国・長者原	昭 26・4・1
小国・箱口	昭 29・7・20

長者原・泡ノ湯

昭 29・9・28 開業

荒沢・五味沢

昭 31・9・20

箱口・下大石沢

3 営業範囲 旅客および団体貸切の取扱をしている。

4 使命 国立公園磐梯朝日, 小国郷の観光および地方産業の開発助長を使命としている。(西山清氏)

おくのとせん 奥能登線 石川県河北郡森木町と同県珠洲郡方面とを結ぶ国鉄自動車路線であって, 所管する自動車営業所は石川県鳳至郡穴水町(穴水), 同支所は同県珠洲市(能登飯田)にある。



小国線



奥能登線

1 区間およびキロ程

奥能登本線	七尾・能登折戸	121 km
	穴水・河内	5
	能登鶴飼・能登小屋	6
	正院・岡田	4
浦上線	穴水・濁池	24
鳳至線	能登瑞穂・能登宇出津	37
小木線	宇出津北口・能登松波	21

2 沿革

奥能登本線	穴水・能登飯田	昭 10・10・1 開業
	能登飯田・狼煙	昭 21・10・21
	七尾・穴水	昭 26・7・1
	狼煙・能登折戸	昭 26・9・20
	能登鶴飼・能登小屋	昭 27・3・10
	正院・岡田	〃
	穴水・河内	昭 29・1・25
浦上線	穴水・濁池	昭 27・9・1